

Libraree

平成30年度がスタートして、一ヶ月が経ちました。新しい環境にはもう慣れた頃でしょうか。ポーっとしていると、すぐに年度最初のテストがあります。走り続けてばかりだと疲れてしまう季節、時には窓の外から見える山の緑に癒されながら、読書に没頭してみるのも、息抜きになると思います。

今年度も吉高ビブリアバトルを三者懇談期(7月)に開催することが決まりました!バトルに立候補したい人大募集中です。

清き一票を 吉高の100冊2018 表紙絵投票

昨年度末に募集した作品16点を図書館内に掲示してあります。その中から、一作品選んで投票してください。今年は力作揃いで迷ってしまうこと間違いなし!既に図書館オリエンテーションで、一年生の投票は終わりました。今年度の表紙の色は、新一年生の学年カラー赤にちなんで、**ピンク**です。それに合うような一枚を見つけてください。2018年度の吉高の100冊は、より生徒へ近づこう、図書委員会で意見を出し合い、今までとは何かが変わる予定です。こちらもお楽しみに。

多読賞 2018

2019年1月31日(木)を締切とし、貸出数上位10名に図書カードを差し上げます♪本を読んで、知識を増やし、心も豊かになり、更に……。いいことしかありません。多読NO.1三連覇は果たして達成されるのか?新たな刺客が現れるのか!結果は二月に発表です。



羊と鋼の森 宮下奈都 文藝春秋



映画化
6月8日公開

言葉で伝えきれないなら、音で表せるようになればいい……。ピアノの調律に魅せられた一人の青年が、調律師として、人として成長する姿を、温かく静謐な筆致で綴る

第13回本屋大賞、第4回ランチブックアワード大賞、第13回キノブス!第1位、と三冠を達成した伝説の作品がついに映画化です。今月1日に吉高で行われた、クラシック音楽会においても、調律師の方にピアノの調律をお願いしたからこそ、あの素晴らしい演奏が聴くことが出来たのです。言葉を紡いで表現されたものが、どう映像化し音となっているのか、読んでから観るか!観てから読むか!貴方次第です。

羊と鋼の森
宮下奈都

文藝春秋

～閉館のお知らせ～

蔵書点検 5月28日(月)～6月1日(金)

期間中は貸出しは一切できません。返却は入口にある返却ポストへお願いします。

本の紛失や場所の間違いを点検します



New Arrival Books

■ 飼い喰い 3匹の豚とわたし 内澤 旬子 岩波書店

話題本

□ AIvs 教科書が読めない子どもたち 新井 紀子 東洋経済新報社

話題本

■ 科学者18人にお尋ねします 宇宙にはだれかいますか? D・カーネギー 河出書房新社

□ インターメディアテク 東京大学学術標本コレクション 東京大学総合研究博物館

■ フォークの箸はなぜ四本になったか 実用品の進化論 ヘンリー・ペテロフスキー 平凡社

□ 帳簿の世界史 ジェイコブ・ソール 文藝春秋

■ 10代のための仕事図鑑 未来の入口に立つ君へ 大泉書店

進路

□ あなたはそのまま愛されている 渡辺 和子 PHP研究所

人生訓

■ 羽生の一手詰/三手詰/五手詰 マガジン・マガジン

将棋

□ 青空と逃げる 辻村深月 中央公論新社

小説

■ 스위트・ホーム 原田 マハ ポプラ社

小説

□ 魔力の胎動 Laplace's movement 東野 圭吾 KADOKAWA

小説